

レジリエント社会・地域共創シンポジウム

日時 令和7年1月13日(月・祝)
13:30~16:00(13:00開場)

場所 J:COM ホルトホール大分3階 大会議室

入場無料

参加申し込み不要

当日受付有

(会場が満席となった場合には入場できない可能性があります)

同時開催イベント「防災・避難所EXPO2025」

時間 10:30~17:00

場所 J:COM ホルトホール大分
1階エントランスホール

入場無料

参加申し込み不要



シンポジウム・EXPO共に
どなたでもご参加頂けます



主催 国立大学法人大分大学・大分大学クライシスマネジメント機構

共催 大分県、大分市、社団法人国立大学協会

協力・協賛 防衛省自衛隊、大分地方気象台、海上保安庁大分海上保安部、大分合同新聞社、TOSテレビ大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、イオン九州株式会社、URIMAT Japan株式会社、NTT西日本、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ、NTTインフラネット、大分交通株式会社、九州電力大分支店、ニシム電子工業大分支店、有限会社光電、株式会社コテガワ、佐川急便株式会社、株式会社総合防災ソリューション、株式会社ダイソー、TOTO株式会社、南国殖産株式会社、有限会社朋友、豊和銀行、三井住友建設株式会社、森永食研株式会社

特別協力 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
国立大学法人熊本大学

後援 NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、J:COM 大分ケーブルテレコム、エフエム大分

災害時の避難所DX推進に向けて
『デジタル技術によってこのちとみらいを
守る避難所づくりを考える』



大分大学研究推進部産学連携課

電話 097-554-7430

『災害時の避難所 DX 推進に向けて～ デジタル技術によっていのちとみらいを守る避難所づくりを考える』

近年、我が国は地震や豪雨などの自然災害が多発し、社会生活を脅かす多くの危機に直面しています。本シンポジウムは、このような災害危機に対応する取組として実施するものであり、大分大学が県内の自治体、報道機関、企業等と連携して、専門家による講演とパネルディスカッションを通じて、特に災害時の避難所の在り方とDX技術の活用による災害支援について考えるものです。なお、シンポジウムの冒頭には、令和6年1月に発生した能登半島地震に関する特別講演も行います。



～シンポジウムプログラム～

特別講演



寺野 稔 (北陸先端科学技術大学院大学 学長)

演題 「北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST) の
産学連携活動とそれを活用した能登震災支援」

基調講演 I



白水伸治 (NTTインフラネット株式会社九州事業部ドコモ事業担当部長)

演題 「独立型リアルタイム映像
コミュニケーションシステムの活用について」

基調講演 II



加來浩器 (防衛医科大学校防衛医学研究センター教授・
大分大学減災・復興デザイン教育研究センター客員教授)

演題 「災害被災地における感染症データの管理と活用」

報告

「大分県及び大分大学における防災への取組紹介」

パネルディスカッション

「災害時の避難所 DX 推進に向けて～
デジタル技術によっていのちとみらいを守る避難所づくりを考える」

ファシリテーター ・徳丸 治 (大分大学福祉健康科学部教授)

パネリスト

- ・白水伸治 (NTTインフラネット株式会社九州事業部ドコモ事業担当部長) ・鶴成悦久 (大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長・教授)
- ・加來浩器 (防衛医科大学校防衛医学研究センター教授・大分大学減災・復興デザイン教育研究センター客員教授)
- ・田尻雅彦 (大分合同新聞社編集局報道部長)
- ・小野高寛 (大分県生活環境企画課長) ・藤並 蓮 (大分大学医学部看護学科4年生/防災系学生ボランティアサークル所属)

同時開催イベント「防災・避難所 EXPO2025」

シンポジウムの同時開催イベントとして、防災・避難所に関する展示会をホルトホール内で開催します。展示会では、模擬避難所や災害情報活用システムのデモンストレーション、自治体・企業等の防災に向けた取組紹介などの展示の他、能登半島地震と熊本地震における支援と復旧の状況を紹介する特別展示も予定しています。入場は無料です。ご家族・友人・知人の皆様とお誘い合わせしてお気軽にご来場ください。